

【議案第 1 号、議案第 16 号、議案第 20 号関係】

問 宇野 裕委員

理科教育等設備整備費について、子供たちの理科離れが言われているが、本県の理科教育の現状と今後の計画はどうなっているか。

---

答 渡辺財務施設課長

理科教育振興法に基づき国からの補助金を受けて理科設備の整備に当たっており、平成 20 年度は 1,400 万円を計上した。学校現場の要望をすべて満たしているとはいえないが、引き続き状況を見ながら対応していきたい。

---

答 嘉村参事兼指導課長

本県では外部の人材が学校に入り、観察・実験の充実を行う理科支援員等配置事業を活用して小学校高学年の理科教育の充実を図っている。全国に先駆け、平成 18 年度に千葉県、石川県、兵庫県の 3 県で試行を行い、19 年度から本格的に実施している。

---

【諸般の報告・その他の関係】

問 宇野 裕委員

- 1) 学校の危機管理については学校における重大事故や登下校時の安全確保、食の安全に関する問題などがあるとのことであるが、具体的にはどういったものを想定しているのか。
- 2) 学校の危機管理に対して庁内横断的に対応するということは、今までは縦割りで対応できていなかったという反省に基づいたものであると思うが、具体的にはどういう失敗や弊害があったのか。

3) 事故等が起きてしまった後の対応も大事であるが、予防措置も一種の危機管理であると思うがどうか。

---

答 江崎教育総務課長

1) 例えば先日の餃子中毒事件や生徒の校舎からの転落事故などである。  
2) 事故等の第一報を受けた後にどこの課が中心となって対応するのかという問題があったので、平成 20 年度は総括責任者として学校危機管理担当参事を配置し、総合的・計画的に取り組んでいく予定である。  
3) 現在、学校事故対策委員会で事故の再発防止に取り組んでいるが、学校等の事故については学校保健課だけでなく、部活動であれば体育課、いじめであれば指導課というように学校危機管理担当参事を中心に総合的・計画的に対応していきたい。

---

問 宇野 裕委員

学校危機管理担当参事は事故等が起きた際の対策本部長ということになるのか。また、マスコミ対応も参事が行うことになるのか。

---

答 江崎教育総務課長

事故等が起きた際には教育長の命を受けて参事が中心となって動いていくことになる。なお、事故によっては担当課長や室長対応の場合もあるが、基本的には参事が中心となってマスコミに対応する。

---

問 宇野 裕委員

いわゆるモンスターペアレントについて、県としてどのように実態を把握しているのか。また、対策はどうなっているのか。

---

答 渡邊教職員課長

学校に対する理解しがたい要求等があることは聞いている。大切なことは担当者だけに任せるのではなく、管理職を中心として学校全体で対応することであり、時には毅然とした態度が必要であると校長会等で伝えている。

---

問 宇野 裕委員

モンスターペアレントの問題に対する県教育委員会としての対応はないということか。

---

答 渡邊教職員課長

専任の職員を置いている他県の例もあるが、第一義的には学校単位で対応するものと考えている。

---

意見

【請願第 53 号、沖縄戦における「集団自決」の記述に関する教科書検定意見の撤回を求める意見書案関係】

宇野 裕委員

「客観的事実を科学的に証明していくために時間をかけた研究が必要であり、慎重に取り扱うべきである。」との意見があった。

---